

河川における魚類の多様性保全に関する研究

水野知巳・中西尚文・藤原正嗣

目的

三重県の淡水域のうち、伊勢湾流入水系と大阪湾（琵琶湖淀川）流入水系は固有種が多く、全国でも最多レベルの種数を誇る水域とされている。

ところが、これまでの県内の魚類相調査は伊勢湾水系が主体で、大阪湾水系に属する上野地方の木津川水系（名張川、柘植川、服部川など）の知見は少ない。

そこで、本調査では、大阪湾水系の保全すべき魚種や生息地を把握することを目的に、本県の上野地方の小河川を中心に魚類相を調べた。

方法

聞き取りで選定された伊賀地区の名張川、柘植川および周辺小河川やため池において、夏季（平成23年8月15日）、秋季（平成23年11月16日）、冬季（平成24年3月20日）の3回、サデ網、タモ網、セルピンを用いた魚類相調査を実施した。

結果

表1のとおり、名張川水系16種、柘植川水系8種、合計20種を採捕した。その中には、カワヒガイ、ヤリタナゴ、メダカ、イトモロコ、アブラボテ等5種の三重県レッドデータブック掲載種が含まれ、次期レッドデータブック作成上参考となる知見が得られた。

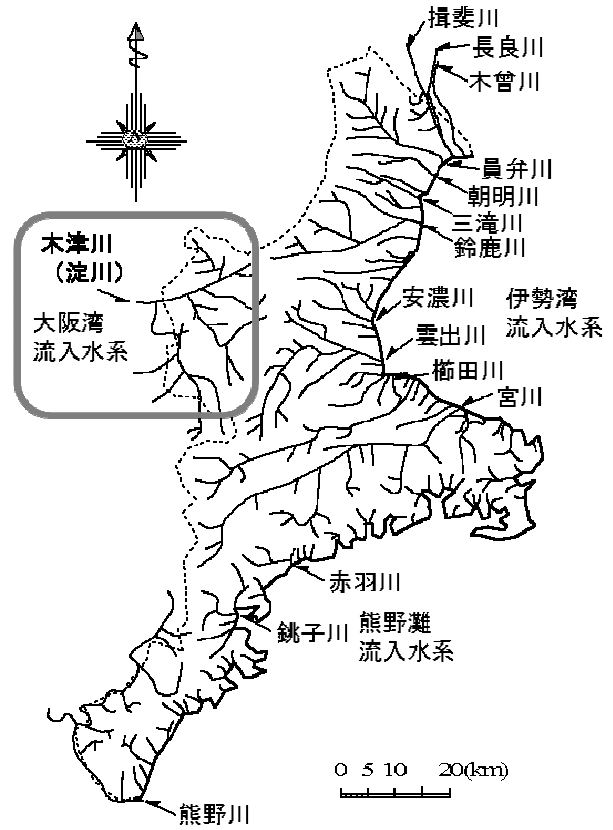


図1. 三重県の主要水系の位置
(太枠内は本調査での採捕水系)

表1. 名張川および柘植川での確認魚種

種名	学名	名張川水系				柘植川水系			備考 カテゴリ(三重2005)
		本流	支流A	支流B	ため池A	本流	支流C	ため池B	
キュウリウオ目アユ科	アユ	○		○				放流あり	
コイ目コイ科	カワムツ			○					
	ヌマムツ			○					
	オイカワ	○			○				
	タモロコ	○	○		○				
	ムギツク	○							
	モツゴ								
	カワヒガイ		○					絶滅危惧ⅠB類	
	カマツカ	○	○		○				
	イトモロコ		○						
	コイ	○							
	ギンブナ				○				
	ヤリタナゴ				○			絶滅危惧Ⅱ類	
	アブラボテ				○			絶滅危惧Ⅱ類	
コイ目ドジョウ科	ドジョウ	○							
	シマドジョウ	○	○						
	アジメドジョウ	○							
ダツ目メダカ科	メダカ	○	○	○	○	○		絶滅危惧ⅠB類 準絶滅危惧	
スズキ目ハゼ科	ドンコ	○	○		○	○	○		
	カワヨシノボリ	○							